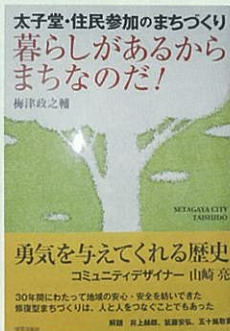




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『太子堂・住民参加のまちづくり 暮らしがあるからまちなのだ! 梅津 政之輔 著(学芸出版社)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



この本は、世田谷区太子堂2・3丁目地区まちづくり協議会のリーダーの梅津氏が太子堂方式と呼ばれている「住民参加の修復型防災まちづくり」の30年以上にわたる変遷過程を綴ったものであり、地区単位のまちづくりの過程を住民の生活の視点から語った貴重な本です。

「住民参加の修復型防災まちづくり」は住民の合意を重視した計画を基に、家の建て替えに合わせて少しずつ街を改善していくことから、「時間と忍耐はまちづくりの必要コスト」と氏が本書で語っています。それゆえに30年以上まちづくりに関わってきた一住民が、後継者や他地区に伝えたい気持ちが随所にふんだんに表れていることから、得るものが多く、まちづくりの参考書となりえる一冊だと思えます。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

安中市 観光課 小林 正幸



小林 正幸さん



講座の様子

日本版DMOの設立を来年に予定している安中市では、内閣府の交付金を活用し、「観光地域づくり」を加速化しています。地域の観光を取りまとめる舵取りとしての役割が日本版DMOに期待され、多様な関係者の合意形成が求められるなかで、このファシリテーター研修はまさにそうした動向に先じたものであり、地方創生人材の育成にも資する事業だと思えます。

都市計画に連動した景観デザインと、それに関するローカルブランディングの方向付けは「住んでよし、訪れてよし」という観光の基本理念の根幹を成すものであり、官民・地域で連携し合意形成を達成する手法は、今後の観光振興に不可欠な能力です。

このファシリテーター研修では、ともすれば難解だと思われがちなワークショップの運営手法について、自然と体に染みつくよう無理なく企画されており、まったく経験の無い方でも、6日間のうちにはワークショップ運営のコツと仕組みが理解できるようになることと思います。ワークショップに慣れていない方も、議論の落としどころや進行の際の勘所を肌で理解する機会となるのではないのでしょうか。他県での開催例が少なく、関西からも参加者がいる人気の研修ですので、ぜひ参加されることをおすすめします。

※日本版DMO・・・観光地域づくりの舵取り役を担う法人です。

マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて・・・

柳 博志 (桐生市→群馬県都市計画課まちづくり室企画推進係)



桐生市から来ました私はジョージです。平成28年3月を持ちまして、まっちい〜ズから卒業します。私が配属された企画推進係は、市町村のまちづくりを支援することが主な業務であります。都市再生整備計画事業やおっ!まっちい〜の編集等、たくさんのまちづくりに携わることができました。他市町村のまちづくりが、そのまま適用はできませんが、桐生市にどのように適用できるか考えながらまちづくりにチャレンジしたいと思います。最後に、三川次長と愉快ななかまたちのおかげで、職場の雰囲気が良く、とても楽しく仕事のできたことに感謝いたします。大変お世話になりました。

佐藤亜希子 (吉岡町→群馬県都市計画課都市計画係)



昨年4月、非常に緊張しながら足がガクガクで都市計画課に来たことを昨日のこのように思い出します。また、緊張しすぎて知事へのあいさつを噛んでしまったことも鮮明に思い出します。当初、都市計画というものが何か全くわかっておらず、何十年後かの実現できるかわからないことを考えるなんて現実的じゃないなあ、などとひどいことを思っていました。しかし、都市計画課の職員の方々や市町村の皆さまからのご指導などにより、都市計画がとても魅力にあふれた分野だと気付きました(現実的じゃないとか思ってすみません!)。そのような心の底から楽しいと思える仕事に出会えたことに感謝しています。本当にたくさんのことを学ばせていただきました。1年間、ありがとうございました!

